

令和8年度
戦略産業人材確保支援事業（働き方改革の推進支援）
委託業務 落札者決定基準

令和8年3月6日
北海道経済部労働政策局雇用労政課

1 落札者決定基準の位置付け

この落札者決定基準は、北海道が実施する令和8年度戦略産業人材確保支援事業（働き方改革の推進支援）委託業務（以下「業務」という。）の総合評価一般競争入札に係る申込みをした者のうち、価格その他の条件が最も有利なものを決定するための基準を示すものである。

2 総合評価による落札者の決定方法

入札書に記載された業務の入札価格が予定価格の制限の範囲内にある者のうち、入札価格に係る評価点（以下「価格評価点」という。）と入札価格以外の要素に係る評価点（以下「技術評価点」という。）を合計して得た数値が最も高い入札者（以下「最も有利な入札者」という。）を落札者とする。

この場合において、最も有利な入札者が2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて落札者を決定する。なお、当該入札者のうち出席しない者又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係のない職員に、これに代わってくじを引かせ、落札者を決定する。

3 価格評価点

価格評価点は、入札価格を予定価格で除して得た値を1から減じた値に、価格評価点の配分得点を乗じて得た数値（小数点第3位を四捨五入して、小数点第2位止めとする。）とする。

$$\text{価格評価点} = \left(1 - \frac{\text{入札価格}}{\text{予定価格}} \right) \times \text{価格評価点の配分得点}$$

4 技術評価点及び評価方法

（1）技術評価点は、「令和8年度戦略産業人材確保支援事業（働き方改革の推進支援）委託業務評価項目、評価基準及び配点」（以下「評価基準」という。）に基づき、評価基準に記載する評価項目毎に6に定めるところにより評価を行い、各評価項目の得点を合計して得た数値とする。

ただし、企画提案に対する各委員による平均審査点（道施策との適合性（「北海道働き方改革推進企業認定制度」、「障がい者雇用」及び「パートナーシップ構築宣言」）に関する事項）に対する審査点を除くが、下記7（2）ウに定める最低合格点に達しない場合は不採用とする。

（2）提出された企画提案書には、提出された順番に記号を付し、全ての審査が終了するまで事業者は匿名とする。

（3）（1）の評価は、道が設置した「令和8年度戦略産業人材確保支援事業（働き方改革の推進支援）」委託業務のける総合評価審査会において審査する。

（4）技術評価点は、総合評価審査会の各構成員の採点の平均点をもってその得点とする。

5 価格評価点と技術評価点の配分得点

価格評価点と技術評価点の配分得点は次のとおりとする。

なお、価格評価点と技術評価点の得点の配分については、要求する技術等の要素により当該業務の成果が大きく影響されることから、技術評価点に重点を置いた総合評価を行うこととし、その配分割合は、価格評価点：技術評価点＝1：3とする。

区分	価格評価点の配分得点	技術評価点の配分得点	合計
配点	50 点	150 点	200 点

6 令和8年度戦略産業人材確保支援事業（働き方改革の推進支援）事業委託業務評価項目、評価基準及び配点

評価項目	評価基準	配点
企画提案者の適格性	ア 提案者の事業内容及び実績から見て受託能力があるか。	15 点
	イ 中小企業の就業環境の改善など働き方改革の推進に関して、相当程度の知見を持っており、また、これらの知見を踏まえた考え方のもと業務の提案がなされているか。	10 点
	ウ 事業を円滑かつ確実に実施する体制、業務スケジュールが確保されているか。	5 点
	ア セミナーの開催について、地域・会場選定や実施時期、実施方法は適切か。	10 点
	イ セミナーの周知及び参加募集について、効果的な集客を行うための工夫がなされているか。	10 点
	ウ セミナーのテーマ及び内容について、参加者の人材育成及	

企画提案内容 の目的適合性 及び業務遂行 方法の妥当性	び企業の職場環境整備につながる内容となっているか。	20 点	100 点
	エ 個別相談の実施について、実施方法は参加企業の課題・支援ニーズ把握ができる内容となっているか。また、伴走支援対象企業の抽出に効果的な内容となっているか。	20 点	
	オ 伴走支援の実施について、実施時期や方法は適切か。また、支援内容は企業の就業環境整備に資する内容になっているか。	20 点	
	カ 専門家を含めた支援の体制は、伴走支援の実施に効果的に対応できるものとなっているか。	10 点	
	キ アウトプット目標及びアウトカム目標を達成するため、効果的な集客や支援のための工夫などがなされているか。	10 点	
道施策との適合性	ア 「北海道働き方改革推進企業認定制度」における4つの認定グレード（ゴールド認定、シルバー認定、ブロンズ認定、ホワイト認定）のいずれかに該当しているか。 （ゴールド認定・シルバー認定：8点、ブロンズ認定：4点、ホワイト認定：2点）	8 点	20 点
	イ 「北海道働き方改革推進企業認定制度」における3つの認定グレード（ゴールド認定、シルバー認定、ブロンズ認定）のいずれかに該当し、同制度の評価基準にある「障がい者就労支援企業認証制度」の一定以上の認証ポイントを取得しているか。	2 点	
	ウ 国が実施している「パートナーシップ構築宣言」を宣言しているか。	10 点	

7 審査基準

(1) 採点基準

採点基準		大変優れている	優れている	標準的である	やや劣っている	劣っている
点数	配点 20 点	20 点	14 点	10 点	6 点	0 点
	配点 15 点	15 点	11 点	8 点	4 点	0 点
	配点 10 点	10 点	7 点	5 点	3 点	0 点
	配点 5 点	5 点	4 点	3 点	1 点	0 点

(2) 配点等

次のとおりとする。

ア 評価合計点・・・各評価項目の合計点

イ 審査基準点・・・各評価項目の「標準的である」の合計点

ウ 最低合格点・・・審査基準点の合計点

なお、評価項目別の最低基準点は設けない。

評価項目	評価合計点	審査基準点	最低合格点
企画提案者の適格性	30 点	16 点	66 点
企画提案内容の目的適合性及び業務遂行方法の妥当性	100 点	50 点	
道施策との適合性	20 点	—	—